取扱説明書

液晶プロジェクター

CP-X8170J
CP-WX8265J
CP-WU8460J

（形名：CP-X8170/CP-WX8265/CP-WU8460）

【ネットワーク編】

このネットワーク編では、本製品のネットワーク機能について説明します。

ネットワーク編

⚠警 告	ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに……… 3 - 2
- 使用上のご注意……… 3 - 2
- 主な機能……… 3 - 3

ネットワークへの接続……… 3 - 4
- 必要なシステム環境について……… 3 - 4
- ネットワーク接続手順……… 3 - 5
- ネットワーク接続の設定ー有線 LAN ……… 3 - 6
- ネットワーク接続の設定ー無線 LAN ……… 3 - 9

ネットワークプレゼンテーション… 3 - 13

Web コントロール ……… 3 - 14
- プロジェクター Web コントロール ……… 3 - 15
- Crestron e-Control® ……… 3 - 37
- 目的別設定……… 3 - 44

マイ イメージ ……… 3 - 47

メッセンジャー……… 3 - 49

ネットワークブリッジ……… 3 - 51

ネットワークからのコマンド制御… 3 - 54

トラブルシューティング……… 3 - 58

はじめに

使用上のご注意 <必ずお読みください>

⚠ 警 告

高温注意

●**高温に注意する**
別売品のUSBワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。USBワイヤレスアダプターを使用する場合は、LAN端子から遠い方のUSB TYPE A端子に直接接続し、アダプターカバーを必ず取り付けてください。
本機を電源に接続した状態で、USBワイヤレスアダプターを抜き差ししないでください。

⚠ 注 意

● **USBワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する**
USBワイヤレスアダプターは、型名（USB-WL-11N）を販売店に指定してご購入ください。

● **LAN端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する**
ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN端子に接続しないでください。
▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。
▶ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

お守りください

●無線LANで通信を行う場合は、SSID、暗号化などのセキュリティ対策をしてください。セキュリティ対策をしない場合、通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されるなどの問題が発生する可能性があります。無線LANに関するセキュリティについては、「ネットワーク設定」（📖3-18）および【応用編】「ネットワークメニュー」の「無線LAN設定」（📖2-36～38）をご参照ください。
●無線LANで通信を行う場合は、Wi-Fi認定の無線LANモジュール、アダプターなどをご使用ください。

別売品のIEEE802.11b/g/n対応USBワイヤレスアダプターは、2.4GHz帯域の電波を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえ、ご使用ください。
●下記の機器、施設の近くでは、使用しないでください。
・電子レンジ
・産業・科学・医療機器
・特定小電力無線局
・構内無線局
電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。
●お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信できなくなることがあります。特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、ご利用の際は、ご注意ください。
● USBワイヤレスアダプターが国内で使用できる2.4GHz帯域のチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は、1～11です。
● USBワイヤレスアダプターは、国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

主な機能

■ネットワークプレゼンテーション（📖3-13）

本機をネットワークに接続すると、わずらわしい映像信号のケーブルを使わずに、プレゼンテーションが可能です。"LiveViewer" を使用して、コンピュータの画面をキャプチャし、ネットワークを介して本機に送信、表示することができます。

■ Web コントロール（📖3-14）

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます。

■マイ イメージ（📖3-47）

静止画像をネットワーク経由で本機に４つまで転送、マイ イメージとして登録し、１つずつ表示させることができます。

■メッセンジャー（📖3-49）

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、あらかじめ本機に転送・登録された最大 12 のテキストデータから、選択して１つずつ表示させることもできます。

■ネットワークブリッジ（📖3-51）

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行う、ネットワークブリッジ機能に対応しています。本機とイーサネットで接続したコンピュータから、本機を経由して、本機と RS-232C で接続した外部機器をネットワーク端末と同様に制御することができます。

■ネットワークからのコマンド制御（📖3-54）

RS-232C コマンドを使用して、ネットワーク経由で本機をコマンド操作することができます。

ネットワークへの接続

必要なシステム環境について

本機をネットワークに接続するには、以下のものが必要です。

■液晶プロジェクター（本機）

■コンピュータ

■本機とコンピュータの接続機器

＜無線 LAN を使用する場合＞

本機側：IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプター（別売品：USB-WL-11N）

コンピュータ（ネットワーク）側：IEEE802.11b/g/n 対応無線 LAN アダプター

※ INFRASTRUCTURE モードで使用する場合は、アクセスポイントもご用意ください。

＜有線 LAN を使用する場合＞

LAN ケーブル（CAT-5 以上）

※ 100Base-TX または 10Base-T に準拠した通信環境が必要です。

本機とネットワークで接続するコンピュータに必要な最小要件は以下の通りです。

– OS　：Windows® XP Home / Professional Edition
Windows Vista® Home Basic / Home premium / Business / Ultimate / Enterprise
Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise
Windows ® 8
Windows ® 8 Pro/Enterprise

– CPU　：Pentium® 4（2.8GHz 以上）

–メモリ　：512MB 以上

–ハードディスク空き容量　：100MB 以上

–グラフィックインタフェース　：16bit、XGA 以上

– Web ブラウザ　：Internet Explorer® 6.0 以降

– CD-ROM ドライブ

– LAN インタフェース　：100Base-TX または、10Base-T 対応

お知らせ

●コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール／アダプターをご使用ください。

●ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

ネットワーク接続手順

ネットワーク接続の大まかな流れは、以下の通りです。
同梱のアプリケーション CD 内の、“LiveViewer” を使用すると、面倒な設定を省いてネットワークに接続することができます。“LiveViewer” のインストール、および “LiveViewer” についての詳細は、“LiveViewer” の説明書をご参照ください。

1. コンピュータの電源を入れ、管理者権限でログオンする
（管理者権限とは、コンピュータのすべての機能にアクセスできる権限のことをいいます。）
2. <有線 LAN を使用する場合>
本機とコンピュータ、あるいはアクセスポイントを LAN ケーブルで接続し、本機を電源に接続する
<無線 LAN を使用する場合>
本機に別売品の USB ワイヤレスアダプターを接続し、本機を電源に接続する
3. ご使用のコンピュータ、および本機で、ネットワークに関する設定を行います。
“LiveViewer” を使用する場合は、“LiveViewer” の説明書をご参照ください。
“LiveViewer” を使用せず、手動でネットワーク設定を行う場合は、ご利用になるシステムによって、「ネットワーク接続の設定－有線 LAN」（📖**3-6～8**）、または、「ネットワーク接続の設定－無線 LAN」（📖**3-9～12**）をご参照ください。

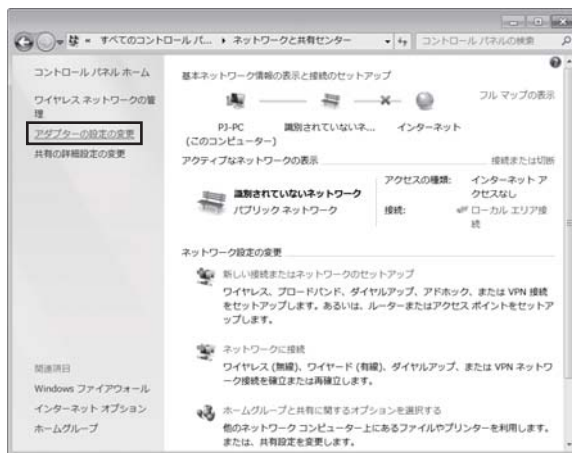
お知らせ

● 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-17**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。

ネットワーク接続の設定－有線 LAN

この章では、Windows® 7 を使用する場合の、有線 LAN 接続の設定方法について説明します。

1. 管理者権限で Windows® 7 にログオンし、[スタート] メニューから“コントロールパネル”を開きます。
2. ネットワークとインターネットの [ネットワークの状態とタスクの表示] を開きます。" コントロールパネル " をアイコンで表示している場合は、" ネットワークと共有センター " をクリックしてください。

3. " ネットワークと共有センター " ウィンドウの左側にあるメニューから、" アダプターの設定と変更 " を選択してください。

4. " ローカルエリア接続 " を右クリックして、右クリックメニューを開き、" プロパティ " を選択してください。

5. " インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) " を選択し、[プロパティ] をクリックします。

(次ページにつづく)

6. "次のIP アドレスを使う"を選択し、コンピュータの"IP アドレス"、" サブネットマスク "、" デフォルトゲートウェイ " を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する " を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

■ IP アドレスについて

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

例）本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。

IP アドレス : 192.168.1.254
サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1”です。
コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx
サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 253 の数値（10 進数）を指定します。

お知らせ

- 接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。（DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。）
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の IP アドレス（有線 LAN）は、プロジェクター Web コントロールの " ネットワークインフォメーション "（📖**3-16**）、および「ネットワーク」メニューの「有線 LAN インフォメーション」（📖**2-41**）から確認できます。また、プロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 "（📖**3-19**）を使用して、あるいは「ネットワーク」メニューの「有線 LAN 設定」－「IP ADDRESS」（📖**2-40**）から変更することができます。
- 本機とコンピュータを同じネットワークで接続する場合（ネットワークアドレスが同じ）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

（次ページにつづく）

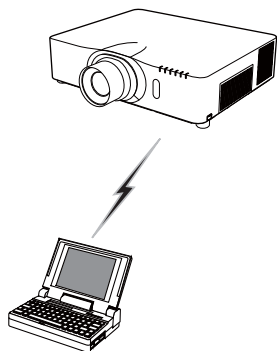
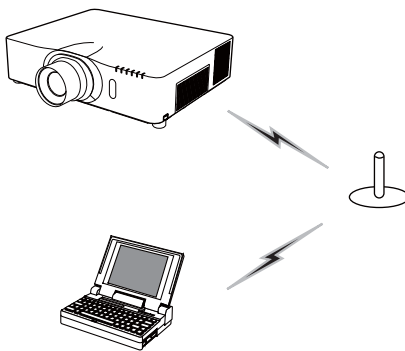
インターネットオプションの設定

1）" ネットワークと共用センター " ウィンドウで、" インターネット オプション " を選択し、" インターネットのプロパティ " ウィンドウを開きます。

2）" 接続 " タブで、［LAN の設定］をクリックし、" ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定 " のウィンドウを開きます。

3）" ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定 " のウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

ネットワーク接続の設定－無線 LAN

この章では、Windows® 7 を使用する場合の、無線 LAN 接続の設定方法について説明します。
無線 LAN では、本機とコンピュータ間を Ad-Hoc、および Infrastructure の 2 つのモードで通信することができます。Ad-Hoc モードは、コンピュータと直接一対一で通信し、アクセスポイントを必要としない接続モードです。Infrastructure モードは、アクセスポイントを使用して通信する接続モードで、多数の機器を接続する場合に便利です。

コンピュータと直接通信
（Ad-Hoc）

アクセスポイントを使用する通信（Infrastructure）

IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール、アダプターがコンピュータに搭載されている場合は、これを有効にし、他のネットワークデバイスを無効にしてください。無線 LAN モジュール、アダプターがご使用のコンピュータには搭載されていない場合は、IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール、アダプターを接続し、必要に応じてデバイスドライバをインストールしてください。
詳細は、ご使用のコンピュータと無線 LAN モジュール / アダプターの説明書をご参照ください。

本機の無線 LAN 設定は、工場出荷時、以下のようになっています。

接続モード：AD-HOC
SSID：wireless
チャンネル：1
データの暗号化：無効
IP アドレス：192.168.10.254

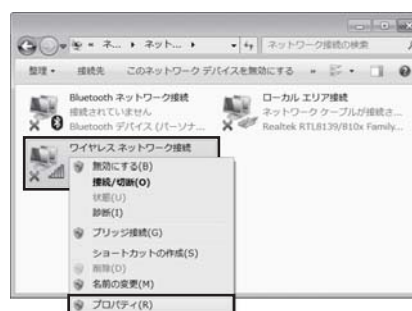
お知らせ

●本機の無線 LAN 設定は、プロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 "（📖**3-17, 18**）で、あるいは「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」（📖**2-36 ～ 38**）で変更することができます。
●アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が異なります。詳細は、コンピュータ、および無線 LAN モジュール、アダプターの取扱説明書を参照してください。

ネットワーク接続の設定－無線 LAN（つづき）

1. 管理者権限で Windows® 7 にログオンし、［スタート］メニューから“コントロールパネル”を開きます。
2. ネットワークとインターネットの［ネットワークの状態とタスクの表示］を開きます。" コントロールパネル " をアイコンで表示している場合は、" ネットワークと共有センター " をクリックしてください。

3. " ネットワークと共有センター " ウィンドウの左側にあるメニューから、" アダプターの設定と変更 " を選択してください。

4. " ワイヤレスネットワーク接続 " を右クリックして右クリックメニューを開き、" プロパティ " を選択してください。

5. " インターネット プロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）" を選択し、［プロパティ］をクリックします。

（次ページにつづく）

6. "次のIP アドレスを使う"を選択し、コンピュータの"IP アドレス"、" サブネットマスク "、" デフォルトゲートウェイ " を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する " を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。
設定し終わったら、［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

■ IP アドレスについて

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

例）本機の無線 LAN 設定が次のようになっている場合。

IP アドレス : 192.168.10.254
サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.10”です。
コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

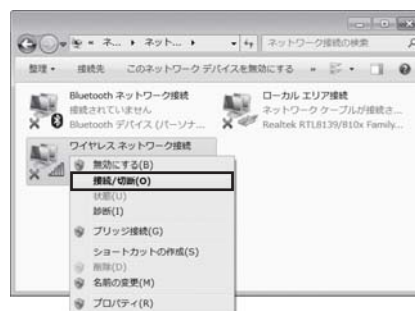
IP アドレス : 192.168.10.xxx
サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 253 の数値（10 進数）を指定します。

お知らせ

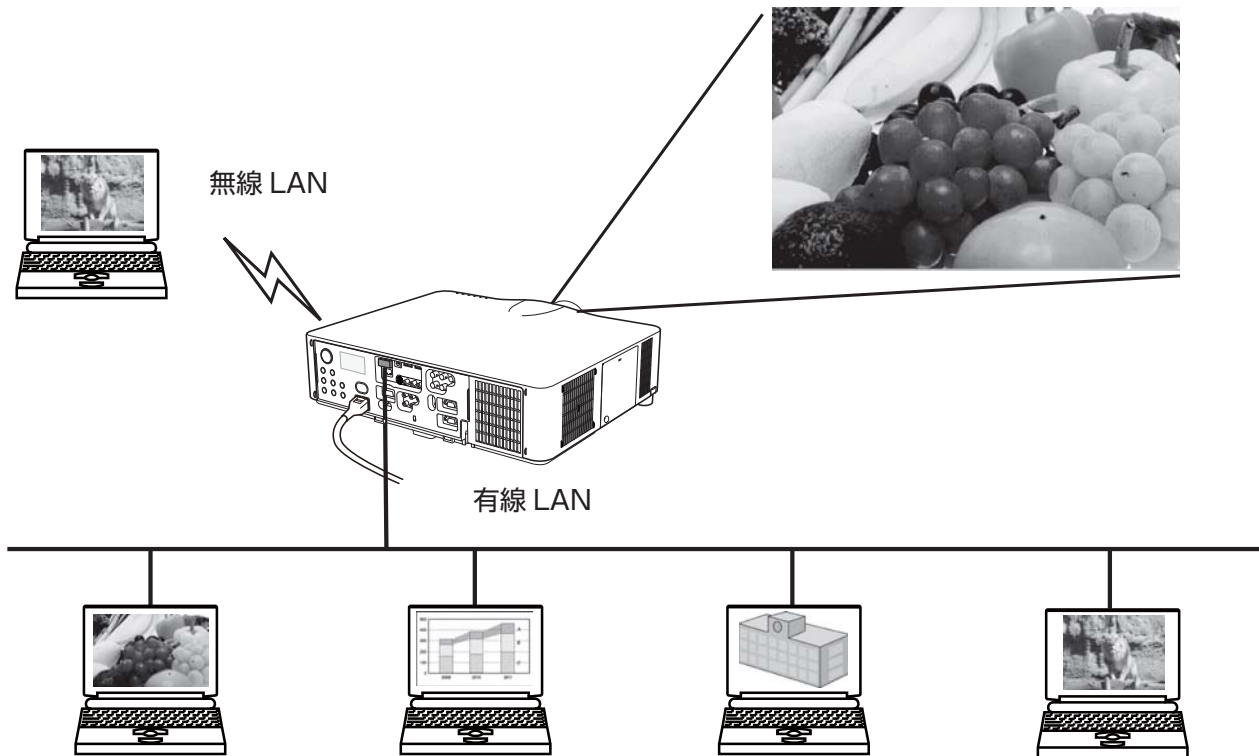
- 接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。（DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。）
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の IP アドレス（無線 LAN）は、プロジェクター Web コントロールの " ネットワークインフォメーション "（**3-16**）、および「ネットワーク」メニューの「無線 LAN インフォメーション」（**2-39**）から確認できます。また、プロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 "（**3-18**）で、あるいは「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」－「IP ADDRESS」（**2-37**）から変更することができます。
- 本機とコンピュータを同じネットワークで接続する場合（ネットワークアドレスが同じ）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

（次ページにつづく）

7. " ワイヤレスネットワーク接続 " を右クリックして右クリックメニューを開き、" 接続 / 切断 " を選択します。

8. 接続可能なネットワークからプロジェクターの SSID（デフォルト "wireless"）を選択してください。暗号方式が有効の場合は、暗号キーの入力を求めるウィンドウが表示されます。設定した暗号キーを入力してください。

9. 接続が成功すると、SSID の横に"接続"と表示されます。

ネットワークプレゼンテーション

コンピュータ画面と音声を本機へネットワーク経由で転送し、本機で表示、再生することができます。
映像信号用のケーブルを使用せずに済み、また、無線 LAN を使用すれば、信号ケーブルを使用しないで映像を投写させることができます。

ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、専用のアプリケーション、“LiveViewer” が必要です。LiveViewer” は同梱のアプリケーション CD から、ご使用のコンピュータにインストールしてください。また、最新バージョンの "LiveViewer" は、弊社のホームページからダウンロードできます。

弊社ホームページ URL:　http://www.hitachi.co.jp/proj/

“LiveViewer” のインストール、および “LiveViewer”、ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、“LiveViewer” の説明書をご参照ください。

ネットワークプレゼンテーションを開始するには、**LAN** 端子を入力端子として選択し、"LiveViewer" のメインメニューでキャプチャ開始ボタンをクリックしてください。

使用できる "LiveViewer" のバージョンは、ご使用のプロジェクターの機種によって異なります。弊社のホームページからダウンロードした最新版をご使用の際、"LIveViewer" の説明書で、適合する機種グループをご確認ください。本機の所属する機種グループは、**グループ G** です。

お知らせ

●コンピュータ画面が下記の解像度よりも大きい場合、下記のサイズに縮小されてから本機へ転送されます。

<CP-X8170J> ：1024 × 768（XGA）

<CP-WX8265J、CP-WU8460J> ：1280 × 800（WXGA）

本機へ転送された後も、本機のパネル解像度が上記より大きい場合でも、縮めたサイズのまま表示されます。

ネットワーク編

Web コントロール

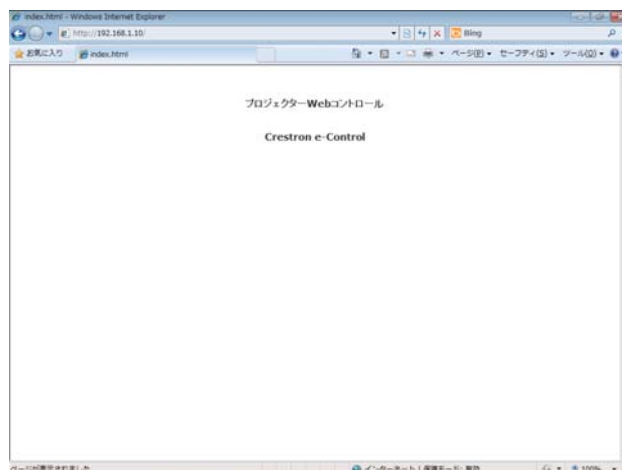
ネットワークで接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の状態確認、設定、制御を行うことができます。

お知らせ

- Internet Explorer® 6.0 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示されないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できないことがあります。

コンピュータとプロジェクターがネットワークで接続されていることを確認し、Web ブラウザを起動してください。以下の例のように、プロジェクターの IP アドレスを Web ブラウザの URL バーに入力し、ENTER キーを押すか、あるいは → をクリックしてください。
右図のような選択画面が表示されます。

例）本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合
Web ブラウザの URL 入力ボックスに
URL: http://192.168.1.10/
を入力し、ENTER キーを押すか、あるいは → をクリックしてください。

［プロジェクター Web コントロール］、または、［Crestron e-Control®］のどちらかを選んでご使用頂けます。ご利用のネットワークやシステム環境に応じて、使用する方をクリックしてください。
詳細は、「プロジェクター Web コントロール」（📖**3-15～36**）および「Crestron e-Control®」（📖**3-37～43**）をご参照ください。

お知らせ

- Crestron e-Control® は、有線 LAN で接続している場合のみご使用ください。
- 本機のメニュー、リモコンと、Web コントロールは、同時に使用しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
- プロジェクター Web コントロールで "Crestron e-Control"（📖**3-19**）の設定が無効に設定されていると、上図のような選択画面は表示されず、プロジェクター Web コントロールのログオン画面が表示されます。
- Crestron e-Control® は、Flash® を使用して作成されています。Crestron e-Control® を使用するには、ご使用のコンピュータに Adobe® Flash® Player をインストールしてください。
- Crestron e-Control は Modern UI バージョンのインターネット・エクスプローラーではサポートされていません。Crestron e-Control を使用するためにデスクトップモードでブラウザを使用してください。

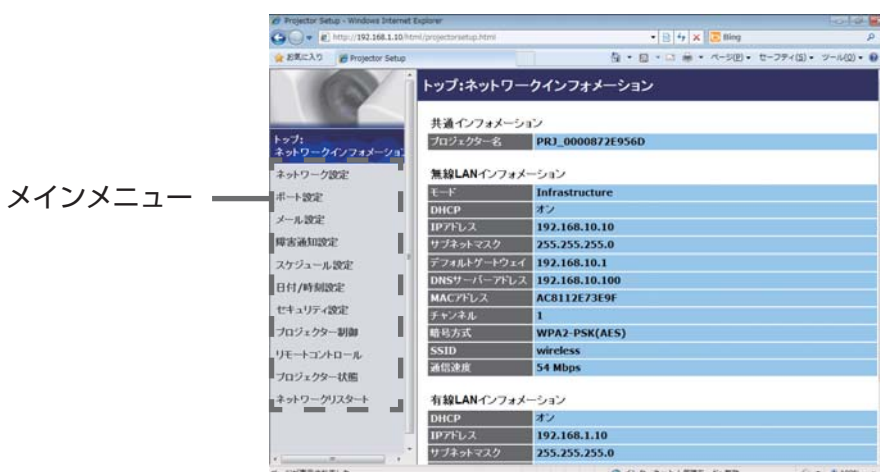
プロジェクター Web コントロール

ログオン

ログオン画面

選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択すると、右図のようなログオン画面が表示されます。
プロジェクター Web コントロールを使用するには、このログオン画面でユーザー名とパスワードを入力する必要があります。工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。

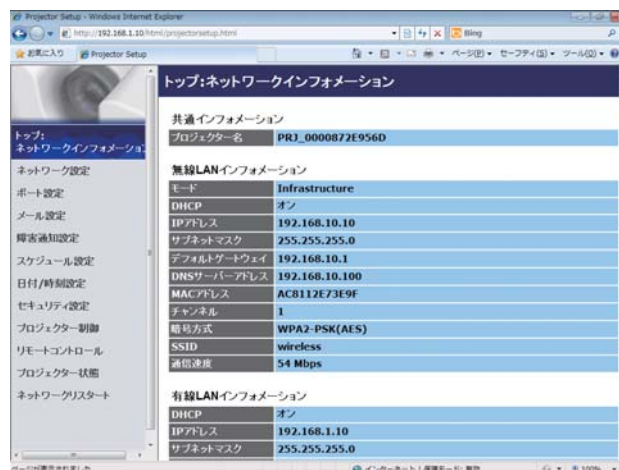
ユーザー名：Administrator
パスワード：（設定されていません）

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。
ログオンが成功すると、下図の画面が表示されます。

画面左側のメインメニューから 設定・操作したいメニュー項目を選んでクリックしてください。

お知らせ

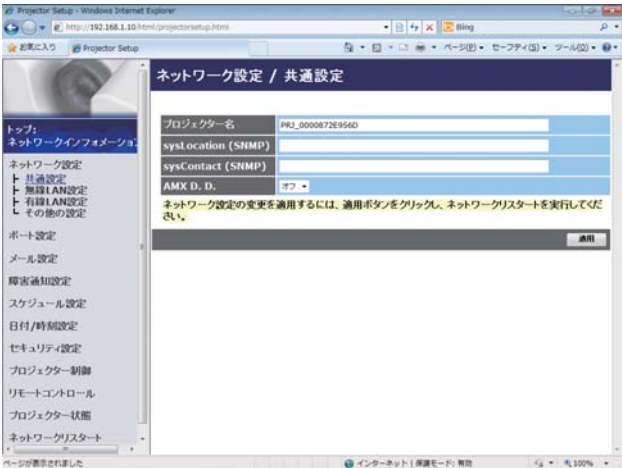
●プロジェクター Web コントロールは、本機に設定された、OSD の表示言語と同じ言語で表示されます。プロジェクター Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単メニュー」または「スクリーン」メニューの「表示言語」（📖**2-5, 20**）を変更するか、Web コントロールの［プロジェクター制御］で、［表示言語］（📖**3-32**）を変更してください。

ネットワークインフォメーション

メインメニューの［ネットワークインフォメーション］をクリックすると、左の " ネットワークインフォメーション” 画面が表示されます。
" ネットワークインフォメーション” では、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

項　目		説　明
共通インフォメーション		無線 LAN と有線 LAN で共通の情報を表示します。
	プロジェクター名	本機に登録されたプロジェクター名です。
無線 LAN インフォメーション		本機の無線 LAN に関する設定を表示します。
	モード	本機の無線接続モードを表示します。
	DHCP	本機の DHCP 設定です。
	IP アドレス	本機の IP アドレスです。
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
	デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
	DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
	MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。
	チャンネル	無線 LAN で使用しているチャンネルです。
	暗号方式	本機の暗号方式設定です。
	SSID	本機の使用している SSID です。
	通信速度	無線 LAN 通信速度を表示します。
有線 LAN インフォメーション		本機の有線 LAN に関する設定を表示します。
	DHCP	本機の DHCP 設定です。
	IP アドレス	本機の IP アドレスです。
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
	デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
	DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
	MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。

（次ページにつづく）

ネットワーク設定

メインメニューの［ネットワーク設定］をクリックすると、左の " ネットワーク設定” 画面が表示されます。
" ネットワーク設定” では、ネットワーク接続の設定を行います。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。
新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら､必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］（📖3-36）から、ネットワーク接続を再起動させてください。

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td colspan="2">共通設定</td><td>無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。.</td></tr>
<tr><td></td><td>プロジェクター名</td><td>プロジェクター名を設定します。
最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。
!"# $% &'（）*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td></td><td>sysLocation（SNMP）</td><td>SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。
半角英数字で 255 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>sysContact（SNMP）</td><td>SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。
半角英数字で 255 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>AMX D.D.
（AMX Device Discovery）</td><td>AMX デバイスディスカバリーの設定を行います。この項目をオンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで、本機を検出することができるようになります。
AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、AMX のホームページ
URL：http://www.amx.com
をご覧ください。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>無線 LAN 設定</td><td>本機の無線 LAN 設定を行います。</td></tr>
<tr><td>　モード</td><td>“Ad-Hoc”もしくは“Infrastructure”を選択します。</td></tr>
<tr><td>　IP 設定</td><td>ネットワーク設定を行います。</td></tr>
<tr><td>　　DHCP オン</td><td>DHCP を有効にします。</td></tr>
<tr><td>　　DHCP オフ</td><td>DHCP を無効にします。</td></tr>
<tr><td>　　　IP アドレス</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>　　　サブネットマスク</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。</td></tr>
<tr><td>　　　デフォルトゲートウェイ</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します</td></tr>
<tr><td>　DNS サーバーアドレス</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>　チャンネル</td><td>Ad-Hoc モードで使用するチャンネルを、１～１１の間で選択します。
お知らせ
●日本国内で使用できるチャンネルは、1 ～ 11 です。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。</td></tr>
<tr><td>　暗号方式</td><td>暗号方式を選択します。</td></tr>
<tr><td>　WEP キー</td><td>WEP キーを設定します。
WEP キーには、ASCII 文字、または 16 進数を使用できます。ただし、ASCII 文字と 16 進数を組み合わせて使用することはできません。
選択した暗号方式または使用する文字方式によって下表のように設定できる文字の長さが異なります。
<table>
<tr><th>暗号方式</th><th>ASCII 文字</th><th>16 進数</th></tr>
<tr><td>WEP 64bit</td><td>5 文字</td><td>10 文字</td></tr>
<tr><td>WEP 128bit</td><td>13 文字</td><td>26 文字</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>　WPA パスフレーズ</td><td>WPA パスフレーズを設定します。
8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。
使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。
!"# $% &'（）*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td>　SSID</td><td>リストより SSID を選択します。リストに無い SSID を設定する場合は“カスタム”を選択し、入力ボックスに SSID を入力してください。
SSID は最大 32 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。
!"# $% &'（）*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

項　目	説　明
有線 LAN 設定	本機の有線 LAN 設定を行います。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。
DHCP オン	DHCP を有効にします。
DHCP オフ	DHCP を無効にします。
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。
その他の設定	その他の設定を行います。
Crestron e-Control	Crestron e-Control® の有効 / 無効を設定します。 無効を選択すると、Web コントロールの最初に選択画面が表示されず、プロジェクター Web コントロールのログオン画面が表示されます。

お知らせ

●本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。

● WEP キー、WPA パスフレーズおよび SSID に無効な文字を使用した場合は、設定できません。

●本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。

ポート設定

メインメニューの［ポート設定］をクリックすると、左の " ポート設定” 画面が表示されます。
" ポート設定” では、通信ポートの設定を行います。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。
新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら､必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］（📖**3-36**）から、ネットワーク接続を再起動させてください。

項　目		説　明
ネットワーク制御ポート１（ポート :23）		ネットワーク制御ポート１（ポート :23）を設定します。
	ポートオープン	ポート :23 を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は､[有効] チェックボックスをオンにします。
ネットワーク制御ポート2（ポート :9715）		ネットワーク制御ポート2（ポート :9715）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9715 を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は､[有効] チェックボックスをオンにします。
PJLink™ ポート（ポート :4352）		PJLink™ ポート（ポート :4352）を設定します。
	ポートオープン	ポート :4352 を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は､[有効] チェックボックスをオンにします。
マイ イメージポート（ポート :9716）		マイ イメージポート（ポート :9716）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9716 を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は､[有効] チェックボックスをオンにします。
メッセンジャーポート（ポート :9719）		メッセンジャーポート（ポート :9719）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9719 を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は､[有効] チェックボックスをオンにします。
SNMP ポート		SNMP ポートを設定します。
	ポートオープン	SNMP を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	トラップアドレス	SNMP トラップ宛先の IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定”で、DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
	MIB ファイルのダウンロード	MIB ファイルを本機からダウンロードします
ネットワークブリッジポート		ネットワークブリッジポートを設定します。
	ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。 1024 ～ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を設定してください。 初期設定では 9717 が設定されています。

メール設定

メインメニューの［メール設定］をクリックすると、左の " メール設定” 画面が表示されます。
" メール設定” では、" 障害通知設定” で指定された、エラー／警告の通知を行う電子メールの設定を行います。送信される電子メールについては、「電子メール機能による自動通知」（📖3-44）をご参照ください。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

項　目	説　明
メール送信	電子メール機能を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。 電子メールの送信条件については、“障害通知設定” で設定してください。
SMTP サーバーアドレス	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定” で、DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
送信者 E-mail アドレス	送信者の電子メールアドレスを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
受信者 E-mail アドレス	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。 各アドレスの［to］または［cc］を指定することもできます。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。

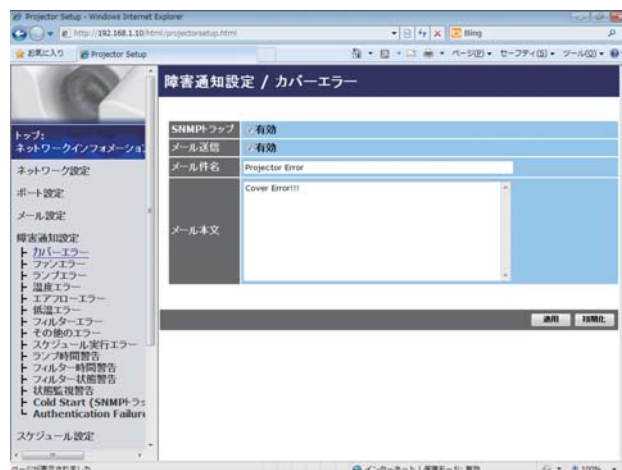
メール設定が正しく機能するかどうかは、［テストメール送信］ボタンをクリックして確認できます。
［テストメール送信］ボタンを クリックする前に、" メール送信” の［有効］チェックボックスをオンにしてください。

お知らせ

●本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワーク編

障害通知設定

メインメニューの［障害通知設定］をクリックすると、メインメニューにエラー／警告通知項目が表示されます。
" 障害通知設定” では、エラー／警告の自動通知を設定します。エラー／警告通知項目を選択すると、各項目ごとの通知設定画面が表示されます。
自動通知の設定手順については、「電子メール機能による自動通知」(📖3-44)、「SNMP による自動通知」(📖3-45）をご参照ください。

■エラー／警告通知項目

項　目	説　明
カバーエラー	ランプカバーがきちんと装着されていません。
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
ランプエラー	ランプが点灯しません。 ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
温度エラー	本機内部が高温になっている可能性があります。
エアフローエラー	内部の温度が上がっています。 エアーフィルターが目詰まりしている可能性があります。
低温エラー	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
フィルターエラー	エアーフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
その他のエラー	その他のエラーが発生しました。
スケジュール実行エラー	設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした（📖3-36, 37, 52)。
ランプ時間警告	ランプの使用時間が " 警告時間” の設定時間に達しました。
フィルター時間警告	エアーフィルターの使用時間が " 警告時間” の設定時間に達しました。
フィルター状態警告	エアーフィルターのお手入れレベルが変更されました。 " ステータス 1" と " ステータス 2" の 2 段階で警告を通知することができます。
状態監視警告	本機の設置状態の変更が検知されました。 状態監視機能については、【応用編】「セキュリティメニュー」の「状態監視」(📖2-48）をご覧ください。
Cold Start	·「スタンバイモード」（📖2-17）が「通常」モードに設定されている場合 ：本機が電源に接続され、スタンバイ状態になりました。 ·「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されている場合 ：本機のパワーが入り、ランプが点灯しました。
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

(次ページにつづく)

■通知設定

各々のエラー / 警告通知について、以下の項目を設定します。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

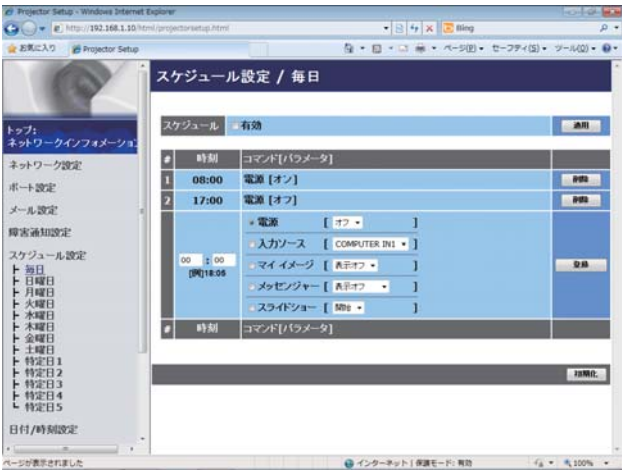
項　目	説　明
警告時間	" ランプ時間警告”、または " フィルター時間警告” を通知する時間を設定します。 この項目は、" ランプ時間警告” と " フィルター時間警告” にのみ表示されます。
SNMP トラップ	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、［有効］チェックボックスをオンにします。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、［有効］チェックボックスをオンにします。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール件名	送信する電子メールの件名を設定します。 半角で 100 文字まで設定できます。件名に特定文字を使用すると最大文字数が少なくなる場合があります。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール本文	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。ただし、以下の記号とスペースを使用する場合は、それよりも少ない文字数までとなります。 " ' : & , % \ この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。

お知らせ

- “スケジュール実行エラー” を除くエラーの詳細については、【技術情報編】「故障かなと思ったら」（📖**4-37～46**）をご参照ください。
- " フィルターエラー” は、「その他」メニューの「特別な設定」－「フィルター掃除通知」（📖**2-30**）で設定された、フィルター掃除通知の表示設定時間を超えると通知のメールが送信されます。「フィルター掃除通知」を「無効」に設定していると通知のメールは送信されません。
- " ランプ時間警告” と " フィルター時間警告” は、フィルター時間、およびランプ時間をメールで通知します。“警告時間” で設定したランプ時間、およびフィルター時間を過ぎると、メールが送信されます。
- " フィルター状態警告 " の各ステータスは、本機の **FILTER** インジケータの色に相当します。" ステータス 1" では、**FILTER** インジケータの色が橙色（緑から橙）、" ステータス 2" では、赤色（橙から赤）に変わった時点で警告が通知されます。**FILTER** インジケータとエアーフィルターのお手入れに関する詳細は、【技術情報編】「インジケータ表示」－「FILTER インジケータ」（📖**4-42**）をご参照ください。
- "Cold Start" と "Authentication Failure" は、SNMP トラップでの自動通知のみ可能です。

ネットワーク編

スケジュール設定

メインメニューの［スケジュール設定］をクリックすると、メインメニューにスケジュールの日程項目が表示されます。
" スケジュール設定" では､スケジュールの設定を行います。スケジュールの日程項目を選択すると、各スケジュール日程ごとの設定画面が表示されます。すでに設定されているスケジュールがある場合は、リストに表示されます。
スケジュールの設定手順については､｢スケジュール機能｣（📖3-46）をご参照ください。

■スケジュールの日程項目

項　目	説　明
毎日	毎日実行されるスケジュールを設定します。
日曜日	毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
月曜日	毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
火曜日	毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
水曜日	毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
木曜日	毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
金曜日	毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
土曜日	毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
特定日１	毎年、特定日 １ に実行されるスケジュールを設定します。
特定日２	毎年、特定日 ２ に実行されるスケジュールを設定します。
特定日３	毎年、特定日 ３ に実行されるスケジュールを設定します。
特定日４	毎年、特定日 ４ に実行されるスケジュールを設定します。
特定日５	毎年、特定日 ５ に実行されるスケジュールを設定します。

（次ページにつづく）

■日時とイベント設定

各日程について、以下の項目を設定します。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

項　目	説　明
スケジュール	スケジュールを有効にするには、［有効］チェックボックスをオンにします。
日付（月 / 日）	スケジュールの日付（イベントを実行する日）を月 / 日の形式で設定します。 この項目は、“特定日”（1 ～ 5）を選択した場合のみ表示されます。

項　目		説　明
時刻		イベントを実行する時間を時：分の形式で設定します。
コマンド［パラメータ］		実行するイベントを設定します。
	電源	パワー（ランプ）のオン／オフを設定します。
	入力ソース	映像入力信号を選択します。
	マイ イメージ	マイ イメージ機能（📖3-47）で転送した画像を表示します。
	メッセンジャー	メッセンジャー機能（📖3-49）で転送したテキストデータを表示します。
	スライドショー	スライドショーの開始／停止を設定します。

既に登録したスケジュールがある場合は、リストに表示されます。
設定した新しいイベントを追加するには、［登録］ボタンをクリックしてください。
リストに表示されているスケジュールを削除するには［削除］ボタンを、リストに表示されたすべてのスケジュールを削除するには［初期化］ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 本機を移動したら、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。強い衝撃により、日時設定（📖3-26）がずれる可能性があります。
- 本機の内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖2-17）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにはスケジュールが実行されません。スケジュールを有効にする際には、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。
- 本機のランプが点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、“マイ イメージ”と“メッセンジャー”のイベントは正常に実行されません。
- 本機のランプが点灯していない、または画像データの入った USB メモリが本機に挿入されていないと、“スライドショー”のイベントは正常に実行されません。
- “スライドショー”のイベントが実行されるときには、本機は自動的に入力端子を USB TYPE A 端子に切り替えます。
- “スライドショー”のイベントでは、本機に挿入された USB メモリのルートディレクトリに保存された画像ファイルが表示されます。
- 本機で、温度エラー、ランプエラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
- スケジュールが正しく実行されない場合は、「トラブルシューティング」（📖3-58, 59）をご参照ください。

日付 / 時刻設定

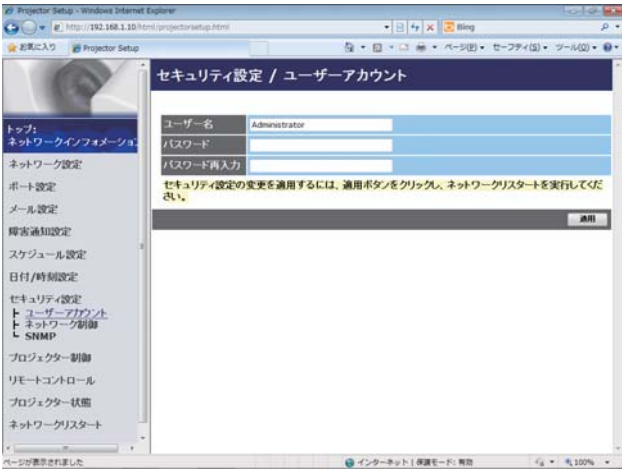
メインメニューの［日付 / 時刻設定］をクリックすると、左の " 日付 / 時刻設定” 画面が表示されます。
" 日付 / 時刻設定” では、日時の設定を行います。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。
新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］（📖3-36）から、ネットワーク接続を再起動させてください。

項　目				説　明
現在日付				年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
現在時刻				時：分：秒の形式で現在時刻を設定します。
サマータイム				サマータイムを有効にするには、［有効］チェックボックスをオンにします。
	開始			サマータイムを開始する日時を設定します。
		月		サマータイムを開始する月（1 ～ 12）を設定します。
		週		サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日		サマータイムを開始する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻	時	サマータイムを開始する " 時”（0 ～ 23）を設定します。
			分	サマータイムを開始する " 分”（0 ～ 59）を設定します。
	終了			サマータイムを終了する日時を設定します。
		月		サマータイムを終了する月（1 ～ 12）を設定します。
		週		サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日		サマータイムを終了する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻	時	サマータイムを終了する " 時”（0 ～ 23）を設定します。
			分	サマータイムを終了する " 分”（0 ～ 59）を設定します。
時差				グリニッジ標準時に対する時差（時 : 分）を設定します。 コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP				SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
	SNTP サーバーアドレス			SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。
	周期			SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔（時：分）を設定します。

お知らせ

- ●本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- ●「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖2-17）を「省電力」に設定して本機をスタンバイ状態にしたり、電源コードを抜くなどして AC 電源が本機に供給されなくなると、日時の設定は初期化されます。
- ● SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- ● SNTP 機能が有効のときは、タイムサーバーから日時の情報を取得し、設定を上書きします。
- ●内蔵時計の時間は、ずれたり初期化されてしまう場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP 機能を使用することをお勧めします。

セキュリティ設定

メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックすると、メインメニューにセキュリティの設定項目が表示されます。
" セキュリティ設定" では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。セキュリティの設定項目を選択すると、各項目ごとの設定画面が表示されます。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。
新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］（📖3-36）から、ネットワーク接続を再起動させてください。

項　目		説　明
ユーザーアカウント		ユーザー名とパスワードを設定します。
	ユーザー名	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	パスワード	パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
	パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク制御		コマンド制御の認証パスワードを設定します。
	認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	認証パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP		SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
	コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

お知らせ

● " ネットワーク制御 " で設定したパスワードは、ネットワーク制御ポート 1 ／ 2（ポート：23、9715）、PJLink[TM] ポート（ポート：4352）、マイ イメージポート（ポート：9716）、メッセンジャーポート（ポート：9719）に共通で有効となります。

プロジェクター制御

メインメニューの［プロジェクター制御］をクリックすると、メインメニューに制御メニューが表示されます。
" プロジェクター制御” では、本機の設定状態を表示し、また、本機を遠隔操作することができます。制御メニューを選択すると、制御メニューごとの設定画面が表示されます。
" メイン” 項目の内容詳細については【基本編】と【応用編】「2 画面表示」（📖2-51 ～ 53）を、" 映像” ～ " その他” 項目の内容詳細については【応用編】をご覧ください。

項　目		説　明
メイン		
	電源	本機の電源（ランプ）のオン／オフを設定します。
	入力ソース	映像入力信号を選択します。 設定を変更したら、［適用］ボタンをクリックしてください。
	映像モード	映像モードを選択します。 設定を変更したら、［適用］ボタンをクリックしてください。
	ブランク オン / オフ	ブランク画面表示のオン／オフ（通常画面）を設定します。
	消音	消音のオン／オフを設定します。
	静止	映像静止のオン／オフを設定します。
	拡大	画面を拡大します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :” に数値を入力し、［決定］ボタンをクリックしてください。 画面の拡大を終了するには、［オフ］ボタンをクリックしてください。
	拡大位置 V 拡大位置 H	画面の拡大位置（垂直方向／水平方向）を設定します。 ［上］、［下］あるいは［左］、［右］ボタンをクリックするか、" 値 :” に数値を入力し、［決定］ボタンをクリックしてください。
	テンプレート	テンプレート画面の表示／非表示（通常画面）を設定します。
	シェード	レンズシェードを開閉します。
	ズーム	画面のサイズ（ズーム）を調節します。
	FOCUS	画面のフォーカスを調節します。
	レンズシフト V レンズシフト H	画面の位置（レンズシフト）を調節します。 ［上］、［下］あるいは［左］、［右］ボタンをクリックしてください。
	レンズメモリ	レンズメモリの、設定の保存、設定の読み出し、データの消去を行います。
	画面設定	2 つの画面の配置の設定を選択します。
	マイ イメージ	マイ イメージの表示／非表示を設定します。 表示する画像データの番号、または “表示オフ” を選択し、［適用］ボタンをクリックしてください。
	マイ イメージ削除	マイ イメージの画像データを削除します。 削除する画像データを選択し、［適用］ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
映像		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	明るさ	明るさを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	コントラスト	コントラストを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	ガンマ	画面のガンマ設定を調節します。 カスタム設定から選択して［編集］ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
	色温度	画面の色温度設定を調節します。 カスタム設定から選択して［編集］ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
	色の濃さ	色の濃さを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	色あい	色あいを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	画質	画質を調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	ACCENTUALIZER	ACCENTUALIZER の設定を調節します。
	アクティブアイリス	アクティブアイリスモード（光量絞り）を選択します。
	マイメモリー保存	現在の設定をマイメモリー（1 ～ 4）に保存します。
	マイメモリー読み出し	マイメモリー（1 ～ 4）に保存された設定を読み出します。
表示		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	アスペクト	アスペクト（画面の縦横比）を選択します。
	オーバースキャン	画面のオーバースキャンを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	垂直位置 水平位置	画面の垂直 / 水平位置を調節します。 ［上］、［下］あるいは［左］、［右］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	クロック位相	画面のクロック位相を調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	水平サイズ	画面の水平サイズを調節します。 ［－］、［＋］ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力してください。
	オートアジャスト実行	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。

（次ページにつづく）

項　目	説　明
入力	設定を変更したら、［適用］ボタンをクリックしてください。
プログレッシブ	プログレッシブモードを選択します。
VIDEO NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
色空間	色空間モードを選択します。
COMPONENT	**COMPONENT** 端子の入力信号を設定します。
ビデオフォーマット - S-VIDEO	**S-VIDEO** 端子から入力される信号のフォーマットを選択します。
ビデオフォーマット - VIDEO	**VIDEO** 端子から入力される信号のフォーマットを選択します。
ビデオフォーマット - COMPUTER IN1	**COMPUTER IN1** 端子から入力される信号のフォーマットを選択します。この項目は、簡易スタックを連結モードで使用時、「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」－「サブ入力チャンネル」（**2-34**）を「固定」に設定しているときのみ、表示されます。
ビデオフォーマット - COMPUTER IN1	**COMPUTER IN2** 端子から入力される信号のフォーマットを選択します。この項目は、簡易スタックを連結モードで使用時、「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」－「サブ入力チャンネル」（**2-34**）を「固定」に設定しているときのみ、表示されます。
HDMI フォーマット - HDMI 1	**HDMI 1** 端子に入力される HDMI® 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット - HDMI 2	**HDMI 2** 端子に入力される HDMI® 信号のフォーマットを選択します。
HDMI レンジ - HDMI 2	**HDMI 1** 端子に入力される HDMI® 信号のモードを選択します。
HDMI レンジ - HDMI 1	**HDMI 2** 端子に入力される HDMI® 信号のモードを選択します。
COMPUTER- イン - COMPUTER IN1	**COMPUTER IN1** 端子からの入力信号の SYNC ON G モードを選択します。
COMPUTER イン - COMPUTER IN2	**COMPUTER IN2** 端子からの入力信号の SYNC ON G モードを選択します。
フレームロック - COMPUTER IN1	**COMPUTER IN1** 端子からの入力信号のフレームロックを有効／無効にします。
フレームロック - COMPUTER IN2	**COMPUTER IN2** 端子からの入力信号のフレームロックを有効／無効にします。
フレームロック - HDMI 1	**HDMI 1** 端子からの入力信号のフレームロックを有効／無効にします。
フレームロック - HDMI 2	**HDMI 2** 端子からの入力信号のフレームロックを有効／無効にします。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
設置		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	オートキーストン（垂直）実行	ボタンをクリックすると、垂直キーストン（ 方向の台形ひずみ）補正の自動調整を実行します。
	キーストン V	垂直キーストン（ 方向の台形ひずみ）の補正量を調節します。 ［−］、［+］ボタンをクリックするか、" 値 :" に数値を入力してください。
	キーストン H	水平キーストン（ 方向の台形ひずみ）の補正量を調節します。 ［−］、［+］ボタンをクリックするか、" 値 :" に数値を入力してください。
	コーナーフィット	<CP-X8170J, CP-WX8265J> 投写画面の四隅の位置と四辺のたわみを調節します。 <CP-WU8460J> 投写画面の四隅の位置を調節します。
	オート エコモード	オートエコモードのオン／オフを設定します。
	エコモード	エコモードを選択します。
	設置方法	画面の設置方法モードを選択します。
	スタンバイモード	本機のスタンバイ時の省電力モードを選択します。
	モニターアウト COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト LAN	LAN 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト USB TYPE A	USB TYPE A 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト USB TYPE B	USB TYPE B 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト HDMI 1	HDMI 1 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト HDMI 2	HDMI 2 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト COMPONENT	COMPONENT 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト S-VIDEO	S-VIDEO 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト VIDEO	VIDEO 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	モニターアウト スタンバイ	スタンバイ時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
オーディオ		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	音量	音量を調節します。 ［−］、［+］ボタンをクリックするか、" 値 :” に数値を入力してください。
	音声入力設定 - COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - LAN	LAN 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - USB TYPE A	USB TYPE A 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - USB TYPE B	USB TYPE B 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - HDMI 1	HDMI 1 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - HDMI 2	HDMI 2 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - COMPONENT	COMPONENT 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - S-VIDEO	S-VIDEO 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - VIDEO	VIDEO 端子選択時の音声入力端子を設定します。
	音声入力設定 - オーディオアウト スタンバイ	スタンバイ時の音声入力端子を設定します。
スクリーン		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	表示言語	本機のメニューなど、本機の画面の表示言語、およびプロジェクター Web コントロール画面の表示言語を選択します。
	メニュー位置 V メニュー位置 H	メニューの垂直／水平位置を調節します。 ［上］、［下］あるいは［左］、［右］ボタンをクリックするか、" 値 :" に数値を入力してください。
	ブランク	ブランク画面を選択します。
	オートブランク	オートブランクの色を選択します。
	初期画面	初期画面を選択します。
	マイスクリーンロック	マイスクリーンロックの有効／無効を設定します。
	メッセージ	メッセージ表示のオン／オフを設定します。
	テンプレート	テンプレート画面を選択します。
	C.C. - ディスプレイ	クローズド・キャプションの表示設定を選択します。
	C.C. - モード	クローズド・キャプションのモードを選択します。
	C.C. - チャンネル	クローズド・キャプションのチャンネルを選択します。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
その他		設定を変更したら、［決定］もしくは［適用］ボタンをクリックしてください。
	チャンネルスキップ - COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - LAN	LAN 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - USB TYPE A	USB TYPE A 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - USB TYPE B	USB TYPE B 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - HDMI 1	HDMI 1 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - HDMI 2	HDMI 2 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - COMPONENT	COMPONENT 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - S-VIDEO	S-VIDEO 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	チャンネルスキップ - VIDOE	VIDEO 端子の、入力信号自動検索機能でのスキップ設定を選択します。
	オートサーチ	入力信号の自動検索の有効／無効を設定します。
	オートキーストン（垂直）	オートキーストン（垂直）補正機能の有効／無効を設定します。
	ダイレクトパワーオン	ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定します。
	オートパワーオフ	オートパワーオフの実行時間を設定します。 ［−］、［+］ボタンをクリックするか、" 値 :” に数値を入力してください。
	シェードタイマー	レンズシェードを閉じてから、本機の電源を自動的に切るまでの時間を設定します。
	USB TYPE B	USB TYPE B 端子の用途を設定します。
	マイボタン -1	リモコンの MY BUTTON 1 に割り付ける機能を選択します。
	マイボタン -2	リモコンの MY BUTTON 2 に割り付ける機能を選択します。
	マイボタン -3	リモコンの MY BUTTON 3 に割り付ける機能を選択します。
	マイボタン -4	リモコンの MY BUTTON 4 に割り付ける機能を選択します。
	リモコン受光部 - 前面	本機前面にあるリモコン受光部の受信有効／無効を設定します。
	リモコン受光部 - 背面	本機背面にあるリモコン受光部の受信有効／無効を設定します。
	リモコン周波数 - 標準	リモコン信号周波数 " 標準 " の受信有効／無効を設定します。
	リモコン周波数 - 高	リモコン信号周波数 " 高 " の受信有効／無効を設定します。
特別な設定		
	プレゼンターモード解除	ボタンをクリックすると、プレゼンターモードを解除します。

お知らせ

● プロジェクター Web コントロールを使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には［更新］ボタンをクリックして本機の設定を再読込みしてください。

ネットワーク編

リモートコントロール

メインメニューの［リモートコントロール］をクリックすると､左の“リモートコントロール”画面が表示されます。“リモートコントロール”では、Web ブラウザを WEB リモコンとして、本機付属のリモコンのイメージで本機を操作できます。

項　目	説　明
スタンバイ	STANDBY ボタンと同様に動作します。
オン	ON ボタンと同様に動作します。
COMPUTER IN1	COMPUETR 1 ボタンと同様に動作します。
COMPUTER IN2	COMPUTER 2 ボタンと同様に動作します。
LAN	LAN ボタンと同様に動作します。
USB TYPE A	USB TYPE A ボタンと同様に動作します。
USB TYPE B	USB TYPE B ボタンと同様に動作します。
COMPONENT	COMPONENT ボタンと同様に動作します。
S-VIDEO	S-VIDEO ボタンと同様に動作します。
VIDEO	VIDEO ボタンと同様に動作します。
HDMI 1	HDMI 1 ボタンと同様に動作します。
HDMI 2	HDMI 2 ボタンと同様に動作します。
静止	FREEZE ボタンと同様に動作します。
AV ミュート	AV MUTE ボタンと同様に動作します。
メニュー	MENU ボタンと同様に動作します。
▲／▼／◀／▶	カーソルボタン▲／▼／◀／▶と同様に動作します。
決定	ENTER ボタンと同様に動作します。
初期化	RESET ボタンと同様に動作します。
前ページ	PAGE UP ボタンと同様に動作します。
次ページ	PAGE DOWN ボタンと同様に動作します。
スライドショー	スライドショーを開始します。

お知らせ

●本機の同梱リモコンと WEB リモコンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
●一回のクリックでは､一回の操作しか行うことができません｡連続して操作するには､ボタンを繰り返しクリックする必要があります。
●ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
●［スタンバイ］または［オン］ボタンをクリックすると、本機の電源を入れる／切る確認メッセージが表示されます。そのまま電源の操作を行うには［OK］ボタンを、元の状態に戻すには［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

プロジェクター状態

メインメニューの［プロジェクター状態］をクリックすると、左の“プロジェクター状態”画面が表示されます。
“プロジェクター状態”では、現在の本機の状態を表示します。

項　目	説　明
エラー状態	現在起きているエラー状況を表示します。
ランプ時間	ランプの使用経過時間を表示します。
フィルター時間	エアーフィルターの使用経過時間を表示します。
フィルター状態	現在のエアーフィルターのお手入れレベルを、インジケータバーとメッセージでお知らせします。
電源状態	本機の電源の状態を表示します。
入力選択状態	選択されている映像入力端子を表示します。
ブランク オン / オフ	ブランク画面のオン／オフ状態を表示します。
消音	消音のオン／オフ状態を表示します。
静止	映像の静止／通常表示の状態を表示します。
シェード	レンズシェードの開／閉の状態を表示します。
スタックモード	本機の簡易スタック（連結モード）での扱いを表示します。 この項目は､「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」－「スタックモード」（📖2-33）が「メイン」か「サブ」に設定されているときのみ表示されます。

ネットワークリスタート

メインメニューの［ネットワークリスタート］をクリックすると、左の "ネットワークリスタート" 画面が表示されます。
"ネットワークリスタート" では、本機のネットワーク接続を再起動します。

項　目	説　明
リスタート	ボタンをクリックすると、保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

お知らせ

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web コントロールで設定を変更、あるいは本機を操作するには、再起動して 30 秒以上経ってから再度ログオンする必要があります。

Crestron e-Control®

Crestron e-Controll® は、Crestron RoomView® での通信インターフェースで、web ブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムのコントローラーです。

選択画面で［Crestron e-Control］を選択すると、上図のメイン画面が表示されます。ただし、Tools 画面で "User Password" を有効に設定していると、上図右のように、パスワードの入力を要求するダイアログが表示されます。設定したパスワードを入力すると、メイン画面が表示されます。
メイン画面の右上にあるタブをクリックすると、以下の各画面に表示を切り替えることができます。

タブ	説　明
Log Out	e-Control® からログアウトします。 このタブは、Tools 画面で "User Password" が有効に設定されているときのみ、表示されます。
Tools	Tools 画面を開きます。（📖3-40）
Info	Info 画面を開きます。（📖3-42）
Contact IT Help	Help Desk ボックスを開きます。（📖3-43）

お知らせ

● Crestron e-Control® は、有線 LAN で接続している場合のみご使用ください。
●プロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 "（📖3-19）で、"Crestron e-Control" が無効に設定されていると、Crestron e-Control® はご利用いただけません。"Crestron e-Control" の設定を有効にして一旦ブラウザを閉じ、再度ブラウザを起動して IP アドレスの入力からやり直してください。
● Crestron e-Control® は、英語でのみ表示されます。
● Crestron e-Control® を使用中に接続が切断されると、"Loading..." の画面が表示されます。本機とコンピューターの接続を確認して、Web 画面を再表示して下さい。
● Crestron RoomView® は、Crestron Electronics, Inc. の提供する、マルチユーザリソース·マネジメント·プログラムです。e-Controll® や、RoomView™ Express、RoomView™ Server Edition などの通信インターフェースを使用して、プロジェクターやその他の AV 機器など、システム全体を一括して管理・制御します。Crestron RoomView®、および RoomView™ Express、RoomView™ Server Edition についての詳細は、Crestron® のホームページ
　URL：http://www.crestron.com
をご覧ください。
● Crestron e-Control は Modern UI のインターネットエクスプローラではサポートされていません。Crestron e-Control を使用するためにはデスクトップモードでブラウザを使用してください。

メイン画面

メイン画面では、プロジェクターの基本的な制御を行うことができます。

お知らせ

●プロジェクターがスタンバイ状態のときは、Power ボタンのみ有効です。

1. 各ボタンで、以下の操作を行うことができます。

ボタン	説　明
Power	本機の電源（ランプ）のオン／オフを設定します。
Vol -/ Vol +	AUDIO OUT の音量を調整します。
Mute	消音のオン／オフを設定します。

2. ボタンをクリックして、映像の入力端子を切り替えることができます。
　現在選択されている映像入力端子に追従して、カーソル位置が移動します。

ボタン	説　明
Computer in1	COMPUTER IN1 端子からの入力を選択します。
Computer in2	COMPUTER IN2 端子からの入力を選択します。
LAN	LAN 端子からの入力を選択します。
USB Type A	USB TYPE A 端子からの入力を選択します。
USB Type B	USB TYPE B 端子からの入力を選択します。
HDMI 1	HDMI 1 端子からの入力を選択します。
HDMI 2	HDMI 2 端子からの入力を選択します。
S-Video	S-VIDEO 端子からの入力を選択します。
Video	VIDEO 端子からの入力を選択します。

3. 付属品のリモコンのボタンと同じように操作することができます。

ボタン	説　明
Menu	MENU ボタンと同様に動作します。
Enter	ENTER ボタンと同様に動作します。
Reset	RESET ボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◀	カーソルボタン ◀ と同様に動作します。
▶	カーソルボタン ▶ と同様に動作します。

（次ページにつづく）

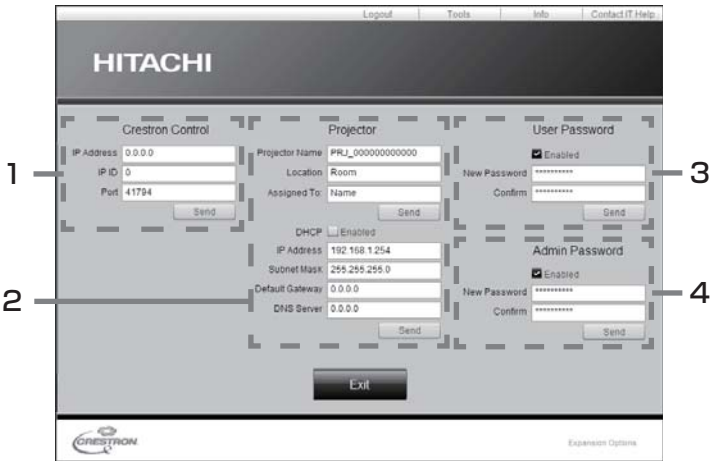
4. 各ボタンで、以下の操作を行うことができます。
表示されていないボタンは、（ボタンの）左右端にあるアイコン◀／▶をクリックすると表示されます。

ボタン	説　明
Freeze	画面の静止のオン／オフを設定します。
Contrast	コントラストを調節します。
Brightness	明るさを調整します。
Color	色の濃さを調整します。
Sharpness	画質を調整します。
Magnify	画面の拡大設定を＋／－ボタンで操作します。 ▲／▼／◀／▶ ボタンで、拡大箇所を移動できます。
Auto	画面の自動調整を実行します。
Blank	ブランクのオン / オフを設定します。

Tools 画面

Tools 画面では、本機と Crestron® コントロールシステムの設定を行います。
メイン画面に戻るには、［Exit］ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●全角文字を使用すると、入力された文字は正しく設定されません。
●全項目とも、空欄のまま設定することはできません。

1．Crestron Control：Crestron® コントロールシステムに関する設定を行います。

項　目	説　明
IP Address	コントロールシステムの IP アドレスを設定します。
IP ID	コントロールシステムの IP ID を設定します。
Port	コントロールシステムの通信に使用するポート番号を指定します。

設定を反映させるには、各入力ボックス群の下にある［Send］ボタンをクリックしてください。

2．Projector：本機のネットワーク設定を行います。

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名を設定します。 半角の英数字、スペースと以下の記号を使用して、最大 64 文字まで入力できます。 !"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~
Location	設置場所名を設定します。 半角の英数字、スペースと以下の記号を使用して、最大 32 文字まで入力できます。 !"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~
Assigned To:	利用者名を設定します。 半角の英数字、スペースと以下の記号を使用して、最大 32 文字まで入力できます。 !"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~

設定を反映させるには、各入力ボックス群の下にある［Send］ボタンをクリックしてください。

項　目	説　明
DHCP	DHCP を有効にします。
IP Address	DHCP が無効の場合の IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP が無効の場合のサブネットを設定します。
Default Gateway	DHCP が無効の場合のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS Server	DHCP が無効の場合の DNS サーバのアドレスを設定します。

設定を反映させるには、各入力ボックス群の下にある［Send］ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

3. User Password：User Password を設定します。Crestron e-Control® を開始するときに User Password を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>New Password</td><td>パスワードを設定します。
半角の英数字、スペースと以下の記号を使用して、最大 26 文字まで入力できます。
!"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td>Confirm</td><td>確認のため、パスワードを再入力します。
パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。</td></tr>
</table>

設定を反映させるには、各入力ボックス群の下にある［Send］ボタンをクリックしてください。

4. Admin Password：Admin Password を設定します。Tools 画面を表示する前に Admin Password の入力を要求するには、チェックボックスにチェックマークを入れてください。

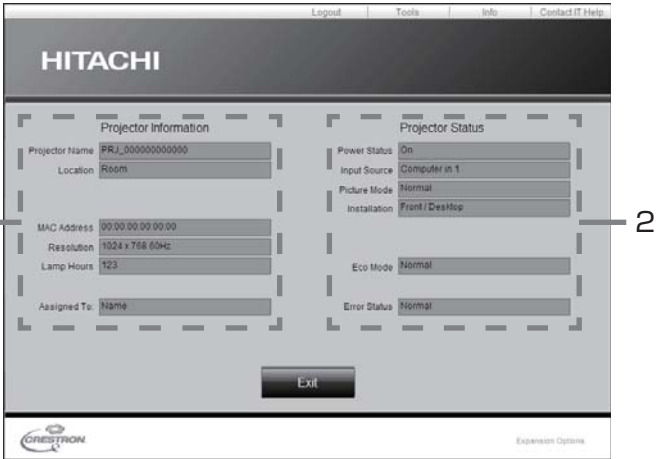
<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>New Password</td><td>パスワードを設定します。
半角の英数字、スペースと以下の記号を使用して、最大 26 文字まで入力できます。
!"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td>Confirm</td><td>確認のため、パスワードを再入力します。
パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。</td></tr>
</table>

設定を反映させるには、各入力ボックス群の下にある［Send］ボタンをクリックしてください。

Info 画面

現在の本機の設定と本機の状態を表示します。
メイン画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●長い "Projector Name"、"Location"、および本機の利用者名（"Assigned To"）は、途中までしか表示されない場合があります。

1. Projector Information：本機の設定を表示します。

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名（📖3-40）を表示します。
Location	本機の設置場所名（📖3-40）を表示します。
MAC Address	本機の有線 LAN MAC アドレスを表示します。
Resolution	本機で選択している入力信号の解像度と垂直周波数を表示します。
Lamp Hours	現在のランプ時間を表示します。
Assigned To:	本機の利用者名（📖3-40）を表示します。

2. Projector Status：本機の状態を表示します。

項　目	説　明
Power Status	本機の電源の状態を表示します。
Input Source	選択されている映像入力端子を表示します。
Picture Mode	現在の映像モードの設定を表示します。
Installation	現在の設置方法の設定を表示します。
Eco Mode	現在のエコモードの設定を表示します。
Error Status	現在起きているエラー状況を表示します。

Help Desk ボックス

Crestron RoomView® Express の管理者との間で、メッセージを送受信することができます。
ボックスにメッセージを入力し、［Send］ボタンをクリックしてください。

ボタンをクリックすると、受信したメッセージを確認することができます。

メッセージを送らずにこのボックスを閉じるには、右上の［ X ］ボタンをクリックしてください。

緊急警告表示

Crestron RoomView® Express の管理者が緊急メッセージを送信すると、e-Control® の画面上に右のようにメッセージが表示されます。この緊急メッセージには、チャット形式で返信メッセージを送ることができます。

緊急メッセージの下に表示されているボックスに、メッセージを入力し、[Send] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 緊急警告表示についての詳細は、Crestron RoomView® Express の説明書を参照してください。
- Crestron RoomView® からの緊急メッセージは、メッセンジャー機能（📖3-49）のリアルタイムテキストと同様に、プロジェクターの画面に表示されます。他のリアルタイムテキストが表示されているときは、この緊急メッセージによってデータが上書きされます。ただし、表示優先度の高いリアルタイムテキストが表示されている場合は上書きされず、緊急メッセージは表示されません。詳細はメッセンジャー機能のアプリケーションに付属の説明書をご参照ください。

目的別設定

プロジェクター Web コントロールを使用すると、その場で本機の状態を確認したり制御する以外に、以下のような機能を使用することができます。

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。
警告メッセージを電子メールで自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

■メール設定

1）選択画面（**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」（**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［メール設定］をクリックしてください。
4）" メール送信” の［有効］チェックボックスをオンし、メールサーバーの IP アドレス、送信者／受信者の電子メールアドレスを設定してください（**3-21**）。
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
6）電子メールの設定が正しいことを確認して、［テストメール送信］ボタンをクリックしてください。
メール設定が正しく機能すれば、下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

件名：Test Mail ＜プロジェクター名＞
本文：Send Test Mail
Date ＜テスト実施日＞
Time ＜テスト実施時間＞
IP Address ＜本機の IP アドレス＞
MAC Address ＜本機の MAC アドレス＞

■障害通知設定

1）メインメニューの［障害通知設定］をクリックしてください。
2）通知設定するエラー／警告項目を選択してください（**3-22**）。
3）" メール送信” の［有効］チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。
必要に応じて " 警告時間” も設定してください（**3-23**）。
4）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

件名：＜メール件名＞ ＜プロジェクター名＞
本文：＜メール本文＞
Date ＜エラー／警告の発生日＞
Time ＜エラー／警告の発生時間＞
IP Address ＜本機の IP アドレス＞
MAC Address ＜本機の MAC アドレス＞

お知らせ

●最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
●本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。
SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

■ポート設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」（📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［ポート設定］をクリックしてください。
4）"SNMP ポート”の " ポートオープン”［有効］のチェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にしてください。また、“トラップアドレス”に、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定してください（📖**3-20**）。
5）［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「ネットワークリスタート」（📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■セキュリティ設定

1）選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックしてください。
4）“SNMP”を選択して、コミュニティ名を設定してください（📖**3-27**）。
コミュニティ名は、初期設定では "public" が設定されています。
5）［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「ネットワークリスタート」にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■障害通知設定

1）選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューで［障害通知設定］をクリックしてください。
4）通知設定する各エラー／警告項目を選択してください（📖**3-22**）。
5）SNMP トラップ”の［有効］チェックボックスをオンにしてください（📖**3-23**）。
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

お知らせ

● SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
● SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

スケジュール機能

スケジュール機能を使うと、指定した日時に指定したイベントを自動的に実行させることが出来ます。
スケジュール機能は、3 種類の日程で、5 種類のイベントを実行することができます。日程、イベントの詳細については「スケジュール設定」（📖**3-24, 25**）をご参照ください。
スケジュールを登録するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

■日時設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2)「ログオン」（📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［日付 / 時刻設定］をクリックして、日時を設定してください（📖**3-26**）。
4）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
サマータイムや SNTP の設定を変更した場合は、「ネットワークリスタート」（📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

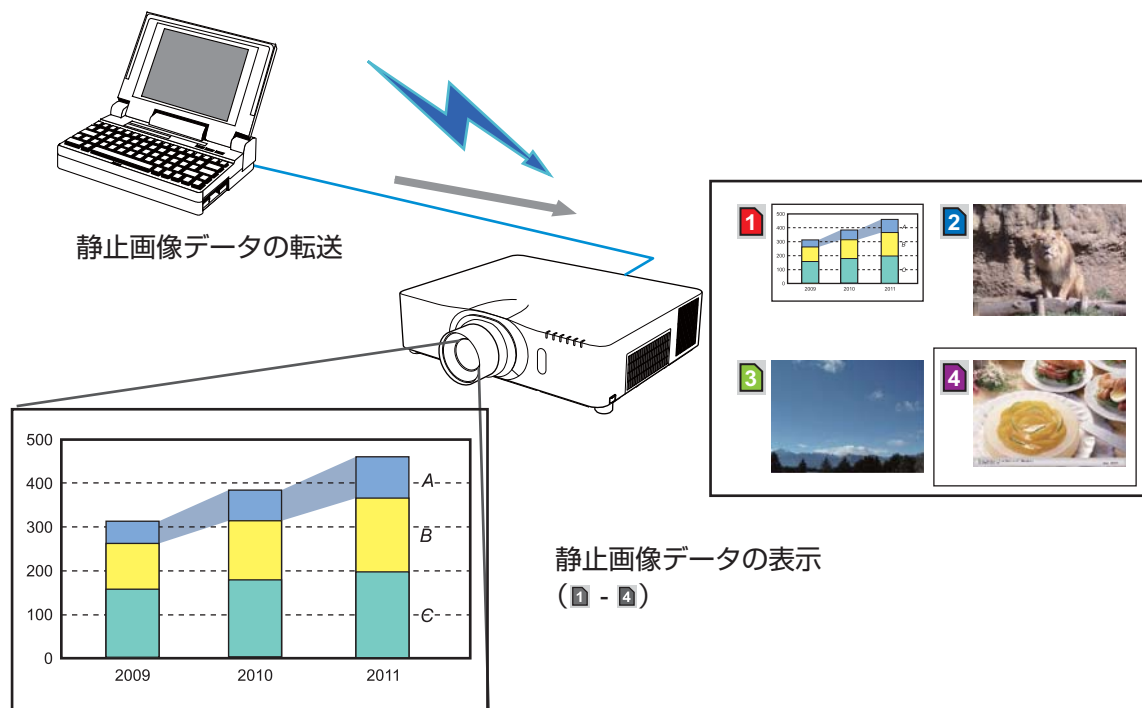
■スケジュール設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2)「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［スケジュール設定］をクリックしてください。
4）設定するスケジュールの日程項目を選択し、［有効］チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にしてください。特定日のスケジュールを設定する場合は、日付（月 / 日）を入力してください（📖**3-24, 25**）。
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
6）スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、［登録］ボタンをクリックしてください。
リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、［削除］ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには［初期化］ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●スケジュールの優先順位は、1）特定日、2）曜日、3）毎日の順になります。
●同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、" 電源　オン” のイベントは最後に実行されます。
●同じ日に実行するイベントは、1 つの特定日に設定してください。複数の特定日に同じ日付を設定すると、特定日の番号（1 ～ 5）が最も小さい特定日に設定されたイベントのみが実行されます。
●優先順位を高く設定されたテキストデータが表示されている間は、スケジュール機能での " メッセンジャー " のイベントはされません。
●内蔵時計の時間は、ずれたり初期化されてしまう場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
● " 電源　オン " スケジュール設定が 1 つでも登録されていれば、本機がスタンバイ状態のときに **POWER** インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
●スケジュール機能をご使用になるためには、本機に電源が供給されている必要があります。本機の **POWER** インジケータが橙色または緑色に点灯していることを確認してください。
●「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-17**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにはスケジュールが実行されません。スケジュールを有効にする際には、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。

マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示させることができます。

マイ イメージの転送と登録

マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは弊社のホームページからダウンロードできます。

http://www.hitachi.co.jp/proj/

アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

●最大４つの画像データを本機に転送、登録することができます。

マイ イメージの表示と削除

マイ イメージを表示、あるいは削除するには、本機のマイ イメージメニューを操作してください。

1）本機の電源を入れ、詳細メニューを表示させます（📖**2-2**, **3**）。

2）「ネットワーク」メニューの「マイ イメージ」（📖**2-42**）を選択し、マイ イメージメニューを表示します。

3）メニューから、表示したい画像を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。

4）表示中の画像を削除するには、削除したい画像を選択し、RESET ボタンを押してください。
削除を確認するダイアログが表示されたら、カーソルボタン▶を押してください。

お知らせ

●マイ イメージは、マイ イメージ機能を割り当てた MY BUTTON（1～4）（📖**2-28**）でも表示することができます。また、プロジェクター Web コントロール（📖**3-28**）で表示、削除することもできます。

●マイ イメージ機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます（📖**3-25**）。

● USB ディスプレイ機能の使用中にマイ イメージを表示させると、USB ディスプレイのアプリケーション、"LiveViewer Lite for USB" が終了します。"LiveViewer Lite for USB" を再起動するには、マイ イメージの表示を終了してください。

●無線 LAN と有線 LAN で、同時にマイ イメージ画像を本機に転送すると、本機がデータを正常に処理できない場合があります。

ポート設定

マイ イメージの転送を行う前に、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

■ポート設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。

2）「ログオン」（📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。

3）メインメニューの［ポート設定］をクリックしてください。

4）“マイ イメージポート（ポート :9716）”の“ポートオープン”［有効］のチェックボックスをオンにしてマイ イメージポートを有効にしてください（📖**3-20**）。
認証設定が必要な場合は、“認証”［有効］のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。

5）［適用］ボタンをクリックして設定を保存し､「ネットワークリスタート」（📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■セキュリティ設定

マイ イメージポートの認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

1）選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。

2）「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。

3）メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックしてください。

4）“ネットワーク制御”を選択し、認証パスワードを設定してください（📖**3-27**）。

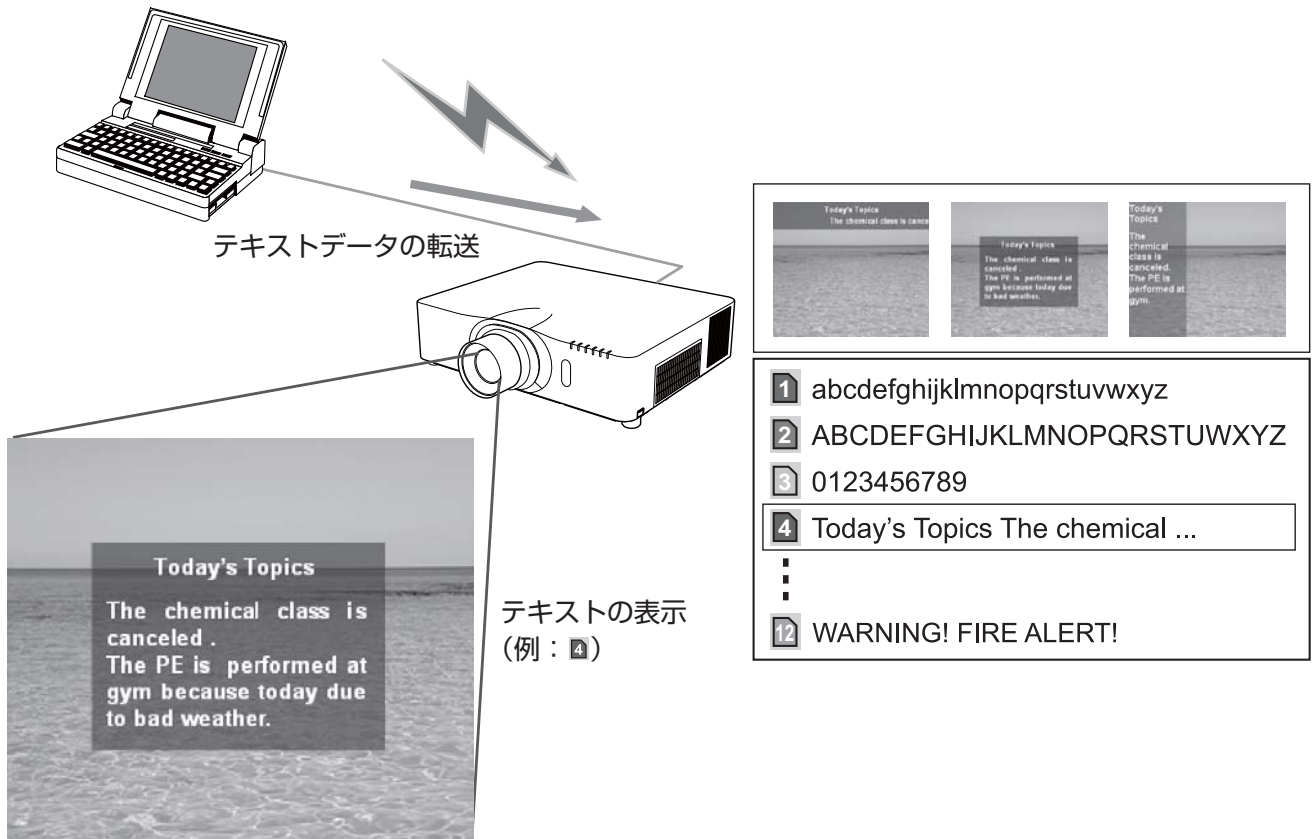
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

お知らせ

● “セキュリティ設定”で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート1（ポート :23）、ネットワーク制御ポート2（ポート :9715）、PJLink™ ポート（ポート :4352）、マイ イメージポート（ポート :9716）、メッセンジャーポート（ポート :9719）で共通です。

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。

メッセンジャー

メッセンジャー機能を使うと、テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させせることができます。テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、あらかじめネットワーク経由で本機に転送・登録されたテキストから選択して、１つずつ表示させる方法が可能です。

テキストデータの転送・表示

メッセンジャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールしてください。テキストデータを編集、転送、表示させるには、このアプリケーションをご利用ください。このアプリケーションは弊社のホームページからダウンロードできます。

http://www.hitachi.co.jp/proj/

アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

●本機には最大 12 項目のテキストデータを登録することができます。
●転送されたテキストデータは、メッセンジャー機能を割り当てた MY BUTTON（1～4）（📖2-28）でも表示することができます。
●メッセンジャー機能で本機に転送したテキストデータは、スケジュール機能を使用して表示することができます（📖3-25）。ただし、優先順位の高いテキストデータが表示されている間は、スケジュール機能でのテキストデータの表示はされません。

ポート設定

テキストデータの転送を行う前に、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

■ポート設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」（📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［ポート設定］をクリックしてください。
4）“メッセンジャーポート（ポート :9719）”の“ポートオープン”［有効］のチェックボックスをオンにしてメッセンジャーポートを有効にしてください（📖**3-20**）。
認証設定が必要なときは、" 認証”［有効］のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。
5）［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「ネットワークリスタート」（📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

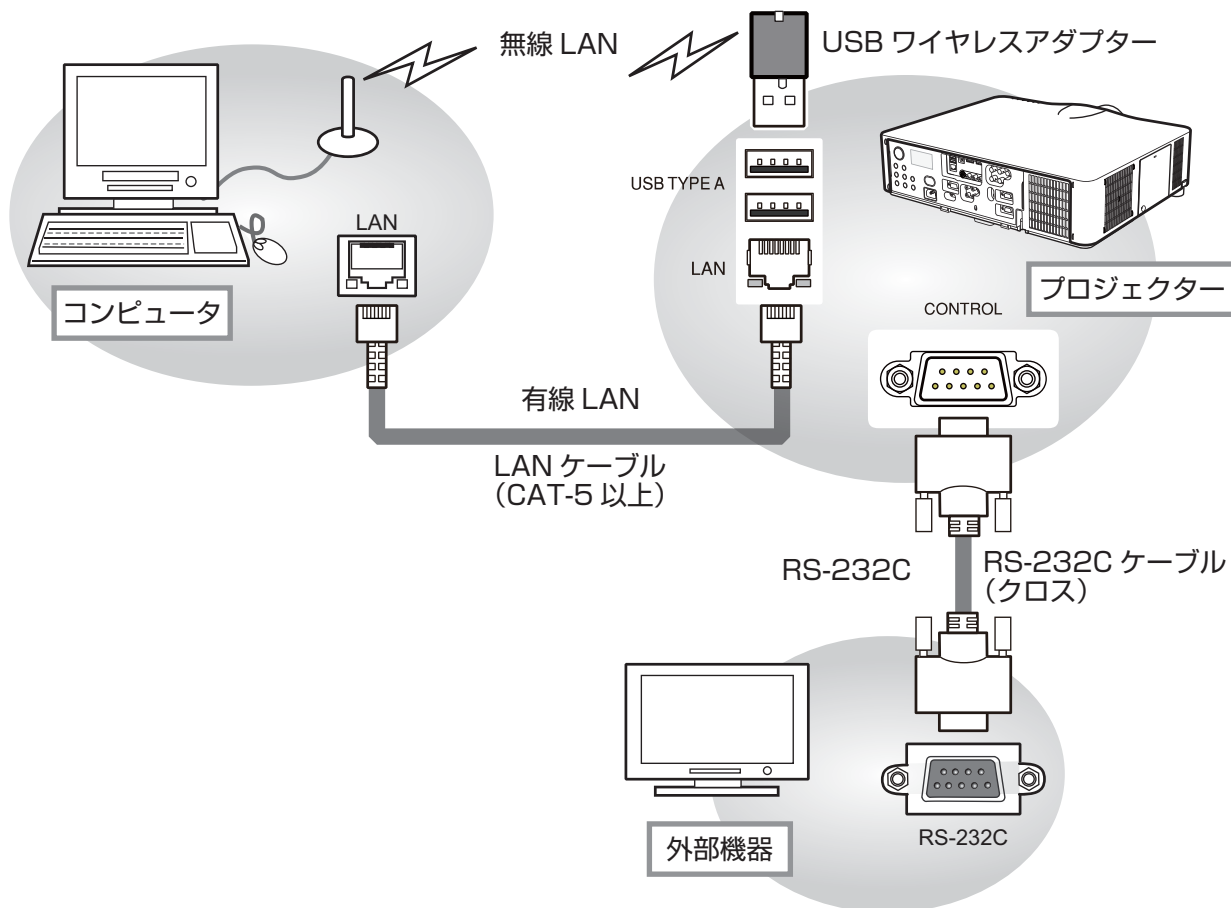
■セキュリティ設定

メッセンジャーポートの認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。
1）選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックしてください。
4）［ネットワーク制御］を選択し、認証パスワードを設定してください（📖**3-27**）。
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

お知らせ

- " セキュリティ設定” で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート1（ポート :23）、ネットワーク制御ポート2（ポート :9715）、PJLink™ ポート（ポート :4352）、マイ イメージポート（ポート :9716）、メッセンジャーポート（ポート :9719）で共通になります。
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。

ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線／無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。

機器の接続

1）有線LANを使用する場合は本機の**LAN**端子とコンピュータのLAN端子をLANケーブルで接続してください。
　無線 LAN を使用する場合は、本機の **USB TYPE A** 端子に USB ワイヤレスアダプター（別売品）を挿入してください。
2）本機の **CONTROL** 端子と外部機器の RS-232C 端子を、RS-232C 通信用に RS-232C ケーブルで接続します。

お知らせ

●接続の前に接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232C の接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください。

通信ポート

Web コントロールで、下記の通り本機の通信ポートを設定してください。

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。

2)「ログオン」(📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。

3) メインメニューの［ポート設定］をクリックしてください。

4)“ネットワークブリッジポート”の " ポート番号”を入力してください（📖**3-20**)。
1024 ～ 65535 の範囲（但し、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 を除く）で任意に設定することができます。工場出荷時は、9717 が設定されています。

5)［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「ネットワークリスタート」(📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。

1）本機の電源を入れ、詳細メニューを表示させてください（📖**2-2, 3**)。

2)「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択し、「通信設定」メニュー（📖**2-32**）を表示してください。

3)「通信タイプ」で、「ネットワークブリッジ」を選択してください。

4)「シリアル設定」で、「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器との RS-232C 通信に合わせて選択してください。

　ボーレート　　　　：**4800bps ／ 9600bps ／ 19200bps ／ 38400bps**
　パリティ　　　　　：**なし／奇数／偶数**

それ以外の RS-232C 通信に関する本機の設定は、以下の通りです。

　データ長　　　　　：8bit（固定）
　スタートビット　　：1bit（固定）
　ストップビット　　：1bit（固定）

5)「通信方式」で、接続した外部機器、またはコンピュータの仕様に合わせた方式を選択してください。

　通信方式　　　　　：**半二重通信／全二重通信**

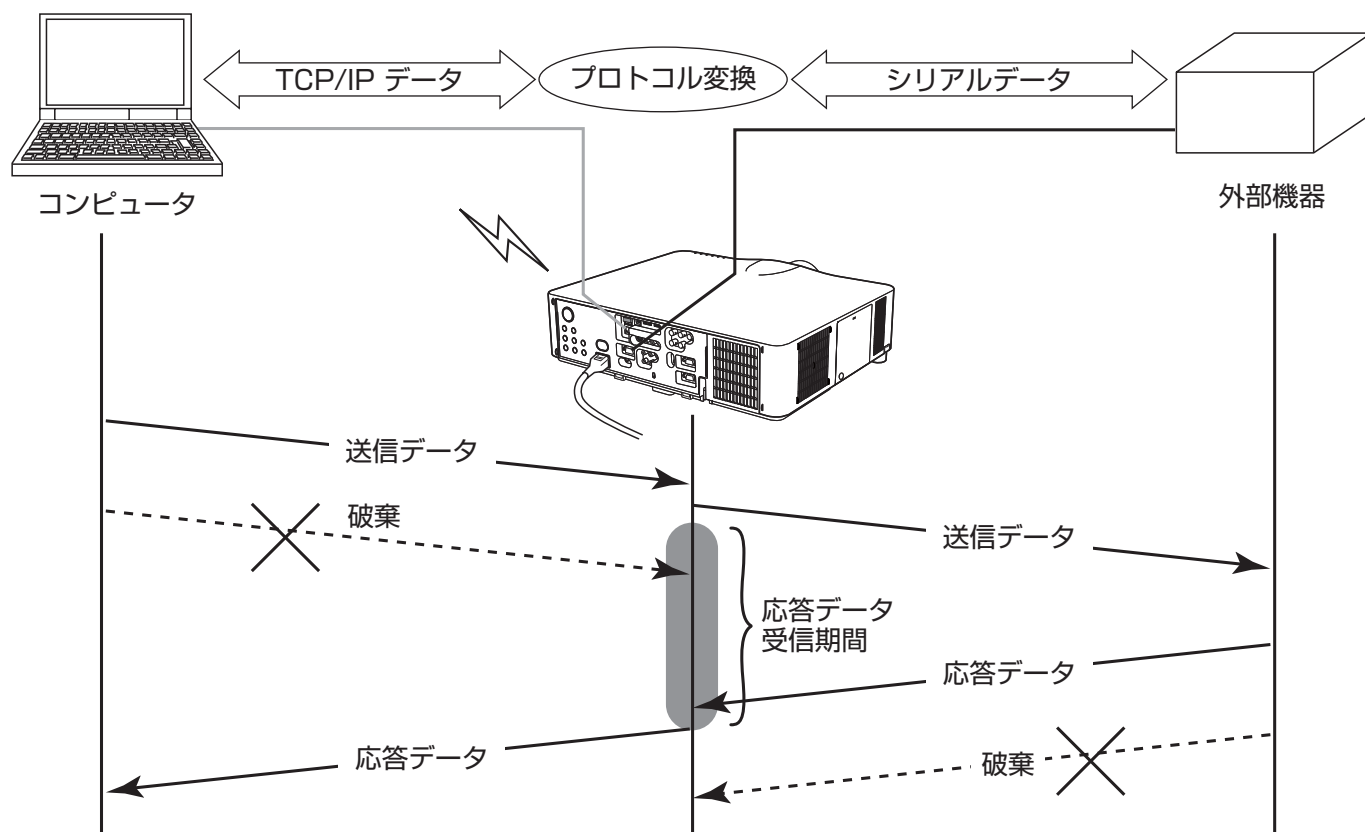
半二重通信を選択した場合は、接続した外部機器の仕様に合わせ、「応答データ受信期間」も設定してください。

　応答データ受信期間　：**オフ／ 1s ／ 2s ／ 3s**

お知らせ

●工場出荷時、「通信タイプ」は「オフ」に設定されています。
●通信方式の設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができませんのでご注意ください。
●「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、CONTROL 端子経由で RS-232C コマンドを受信できません。

通信方式

本機でのネットワークブリッジの通信方式は、半二重通信と全二重通信を選択することができます。

■半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。

コンピュータから本機を経由して一度外部機器へデータを送信すると、外部機器からの応答データを受信するか、一定の時間（応答データ受信期間）が経過するまで、本機はコンピュータとの送受信を行いません。本機は、データの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。

■全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから、送受信の制御を行ってください。

お知らせ

- ●半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- ●半二重通信方式でも、外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。
- ●全二重通信方式で、コンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては、送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。
・TCP #23 （ネットワーク制御 ポート 1（ポート :23））
・TCP #9715 （ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715））

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

■ポート設定

1）選択画面（📖**3-14**）で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」（📖**3-15**）にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［ポート設定］をクリックしてください。
4）"ネットワーク制御 ポート 1（ポート:23）"の"ポートオープン"［有効］のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にしてください（📖**3-20**）。
認証設定が必要なときは、"認証"［有効］のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。
4）"ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715）"の"ポートオープン"［有効］のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にしてください。
認証設定が必要なときは、"認証"［有効］のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。
5）［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「ネットワークリスタート」（📖**3-36**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■セキュリティ設定

ネットワーク制御 ポート 1 ／ 2 の認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。
1）選択画面で［プロジェクター Web コントロール］を選択してください。
2）「ログオン」にしたがって、プロジェクター Web コントロールにログオンしてください。
3）メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックしてください。
4）"ネットワーク制御"を選択し、認証パスワードを設定してください（📖**3-27**）。
5）［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

お知らせ

●コマンド制御は、ネットワーク制御 ポート 1（ポート :23）、ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715）の2ポートでのみ可能です。
●"セキュリティ設定"で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）、ネットワーク制御 ポート2（ポート :9715）、PJLink™ ポート（ポート :4352）、マイ イメージポート（ポート :9716）、メッセンジャーポート（ポート :9719）で共通になります。
●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワークリスタート］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

■ TCP #23

・送信データ形式

RS-232C 通信と同じコマンドをそのまま使用できます。

コマンドの詳細については【技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」（📖**4-11, 12**）を、対応コマンドについては【技術情報編】「RS-232C ／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-14～34**）をご参照ください。

・応答データ形式

RS-232C 通信と同じ応答を返しますが、認証エラーが発生した場合に、（5）の応答を返します。

応答に関する詳細は、【技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」（📖**4-12**）をご参照ください。

（1）ACK 応答　：06h
（2）NAK 応答　：15h
（3）エラー応答　：1Ch + 0000h　（0000h：エラーコード）
（4）データ応答　：1Dh + xxxxh　（xxxxh：データ）
（5）認証エラー応答　：1Fh + 0400h　（0400h：認証エラーコード）

■ TCP #9715

・送信データ形式

以下のように、RS-232C コマンドの先頭にヘッダ（1 バイト）、データ長（1 バイト）を、
末尾に、チェックサム（1 バイト）、接続 ID（1 バイト）を加えます。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
02h	0Dh	13 バイト	1 バイト	1 バイト

［ヘッダ］　：02h、固定
［データ長］　：RS-232C コマンドのバイト長（0Dh、固定）
［RS-232C コマンド］　：コマンドの詳細については【技術情報編】「RS-232C通信によるコマンド制御」を、対応コマンドについては【技術情報編】「RS-232C ／ネットワークコマンド一覧」をご参照ください
［チェックサム］　：ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値
［接続 ID］　：00h ～ FFh のランダムな値（この数値は応答データに付加されます）

・応答データ形式

RS-232C 通信の応答の末尾に、接続 ID（送信データの接続 ID と同じ）を加えた応答を返します。また、本機がビジー状態のとき、認証エラーが発生したときに、（5）、（6）を返します。

応答に関する詳細は、【技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」をご参照ください。

（1）ACK 応答　：06h + xxh　（xxh：接続 ID）
（2）NAK 応答　：15h + xxh　（xxh：接続 ID）
（3）エラー応答　：1Ch + 00 00h + xxh　（00 00h：エラーコード、xxh：接続 ID）
（4）データ応答　：1Dh + xx xxh+ xxh　（xx xxh：データ、xxh：接続 ID）
（5）ビジー応答　：1Fh + xx xxh+ xxh　（xx xxh：ステータスコード、xxh：接続 ID）
（6）認証エラー応答　：1Fh + 04 00h+ xxh　（04 00h：認証エラーコード、xxh：接続 ID）

お知らせ

●本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
●応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
●ウォームアップ中（ランプ点灯動作中）、本機はコマンドを受信できません。

ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

認証

本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを、MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

（例）認証パスワード：password
ランダムな 8 バイトデータ：a572f60c

1）本機とコンピュータをネットワークで接続し、本機からランダムな 8 バイトデータを受信します。
2）受信したランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを結合した値、
a572f60cpassword
を MD5 アルゴリズムで処理します。
3）MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
という認証データを得られます。
5）認証データをコマンドの先頭に付加し、
e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde ＋コマンド
というデータを送信します。
6）送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しくない場合、認証エラー応答が返されます。

お知らせ

●ネットワークで接続している間、２回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

Crestron RoomView®

Crestron RoomView® は、Crestron Electronics, Inc. の提供する、アプリケーションプログラムです。RoomView® はプロジェクターやその他の AV 機器などを、一括して管理・制御するためのアプリケーションです。

Crestron RoomView® の詳細については、Crestron® の web サイトをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com

複数機器の集中管理を行うのに、Crestron Electronics, Inc. の提供する以下の通信インターフェースをご利用になれます。

1) Crestron RoomView® Express / Crestron RoomView® Server Edition

RoomView® Express と RoomView® Server Edition は、Crestron Electronics, Inc の提供するソフトウェアです。AV 機器全体を管理し、ヘルプデスクとの通信や、警告メッセージを送ったりすることができます。

このソフトウェアの詳細については、以下の web サイトをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com/getroomview

2) Crestron e-Control®

Crestron e-Control® は、web ブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムです。

トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください（🕮 **巻末**）。

現象	確認内容	参考頁
通信できない、ネットワークに接続できない	＜無線 LAN 使用時＞ USB ワイヤレスアダプター（別売品）は本機に接続されていますか？」 USB ワイヤレスアダプターを本機の **USB TYPE A** 端子に挿入してください。	🕮**1-22**
	＜無線 LAN 使用時＞ 周囲に、同じ無線 LAN の設定をした、他のプロジェクターや、無線 LAN 機器がありませんか？ SSID、および IP アドレスを変更してみてください。	🕮**2-37, 38** 🕮**3-18**
	有線 LAN と無線 LAN に、同じネットワークアドレスを設定していませんか？ [ネットワーク設定] の [無線 LAN 設定] および [有線 LAN 設定]、または「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」および「有線 LAN 設定」でそれぞれのネットワークアドレスを設定してください。	🕮**3-18, 19** 🕮**2-37, 40**
	＜無線 LAN 使用時＞ 無線信号が弱い可能性があります。本機とコンピュータ、あるいはアクセスポイント間に金属製のドアや仕切りなどが無いことを確認のうえ、両者を近づけてください。	–
	コンピュータ、無線 LAN モジュールの無線 LAN 設定や暗号化設定により、通信がブロックされている可能性があります。コンピュータやモジュールの説明書をご参照のうえ、設定ユーティリティがある場合は、その設定をご確認ください。	–
	本機またはコンピュータのネットワーク設定が正しく設定されていない可能性があります。 本機とコンピュータのネットワーク設定を確認し、正しく設定しなおしてください。本機のネットワーク設定を変更した場合は、いったん電源コードを抜いてから再度電源を入れなおしてください。	–
	コンピュータとアクセスポイント間をワイヤレス LAN で接続している場合で、ご使用のコンピュータ、またはワイヤレス LAN アダプターに専用のアプリケーションがある場合は、"LiveViewer" を起動する前にユーティリティを使用してワイヤレス接続を設定してください。 詳細は、コンピュータかアダプターの説明書をご参照ください。	–
ネットワークブリッジで通信できない	「通信タイプ」が「オフ」に設定されていませんか？ 「その他」メニューの「特別な設定」ー「通信設定」から「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定してください。	🕮**2-32**
スタンバイ時、 - ネットワークに接続できない - ネットワークブリッジで通信できない	「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？ 「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	🕮**2-17**

（次ページにつづく）

現　象	確認内容	参考頁
スケジュール機能で マイ イメージが 表示されない	ランプは点灯していますか？ STANDBY/ON または ON ボタンを押してみてください。	📖1-36
	表示するマイ イメージが本機に登録されていますか？ マイ イメージを登録した、画像番号を指定してください。または、表示する画像データを本機に登録してください。	📖3-47
	状態監視アラーム、または暗証コードを確認するダイアログが表示されていませんか？ 状態監視機能、および暗証コードロック機能を無効にしてください。	📖2-47, 48
スケジュール機能で テキストデータが 表示されない	ランプは点灯していますか？ STANDBY/ON または ON ボタンを押してみてください。	📖1-36
	表示するテキストデータは本機に保存されていますか？ テキストデータを登録した、データ保存番号を指定してください。または、表示するテキストデータを、本機に登録してください。	📖3-49
	優先度の高いテキストデータを表示していませんか？ 優先順位の高いテキストデータがメッセンジャー機能で表示されている間は、スケジュール機能でのテキストデータの表示はされません。	－
	状態監視アラーム、または暗証コードを確認するダイアログが表示されていませんか？ 状態監視機能、および暗証コードロック機能を無効にしてください。	📖2-47, 48
スケジュール機能が 正常に実行されない	日時の設定は合っていますか？ 「スタンバイモード」を「省電力」モードに設定して本機をスタンバイ状態にしたり、電源コードを抜くなどして AC 電源が本機に供給されなくなると、本機の内蔵時計が初期化されます。Web コントロールの［日付 / 時刻設定]、または「ネットワーク」メニューの「有線 LAN 設定」または「無線 LAN 設定」の「日付と日時の設定」で日時を設定し直してください。	📖3-26 📖2-37, 40
	状態監視アラーム、または暗証コードを確認するダイアログが表示されていませんか？ 状態監視機能、および暗証コードロック機能を無効にしてください。	📖2-47, 48
	「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？ 「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-17
	何らかのエラーが発生している可能性があります。 本機の状態を Web コントロール、POWER、TEMP、LAMP の各インジケータ、あるいはステータスモニターで確認してください。	📖3-35 📖4-40 ～ 42 📖1-34, 35
- 本機から正しくない情報が送信される - 本機から情報が送信されない - 本機が応答しない - 本機の投写画面が静止している	本機とコンピュータ間で通信が正常に行われていない、または本機のネットワーク機能が正常に動作していない可能性があります。 「ネットワーク」メニューの「特別な設定」から、「リスタート」を選択し、本機のネットワーク機能を再起動してください。現象が改善しない場合は、いったん本機の電源を切って電源コードを抜き、再度電源を入れなおしてください。	📖2-44